



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



10月に入りました。令和4年度も後半戦へ突入！

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

いよいよ10月に入りました。先日(10月2日)は、井上記念小野市小学生陸上競技大会が小野希望の丘陸上競技場で行われました。とても良い天気、グランドを渡る風に秋を感じました。市内の5・6年生の子供達が元気いっぱい「走る・跳ぶ・投げる」の陸上競技に挑戦しました。本校から出場した児童も力いっぱい自分の力を出し切り、頑張ってくれました。子供達が躍動する姿は本当に見ていて気持ちがいいものです。このコロナ禍により参加の人数が以前より減少傾向にあることは否めません。しかし、今年は、4×100mリレーも再開され、徐々に活気を取り戻しつつあります。スポーツの秋、抜けるような青空の下、気持ちのいい汗をかきました。一日も早く、今までのような大会が開催できることを願っています。

さて、今朝の朝会で、次のような話をしました。子供達に「129」の数字を見せ、「この数字は何を表しているのでしょうか。」と尋ねてみました。保護者の皆様は何の数字だと思われますか。子供達からは、3つの答えが返ってきました。1つ目、「校長先生の歳!」、2つ目、「中番小学校の歳!」、3つ目、「小野市の歳!」でした。そこで、全校生に「正解がありました。どれでしょう。」と尋ねました。多くの子供達は2つ目を選択しました。その通りで、今年で、中番小学校は129歳になります。明治26年(1893年)に創立されています。100歳を越える長寿です。それだけ歴史と伝統があるということです。このマークを見たことがありますね。そう、校章です。制服にも、黄帽子にも、体操服にも、演台にも、ステージの上の方にも付いています。このマークは一体、何を表しているのでしょうか。実は、「**独楽と糸巻き**」をもとに考え、図案化されたものです。では、独楽

は、一体何を表しているのでしょうか。どんな意味があるのでしょうか。独楽は回ります。そして、回っている間はずっと立っています。回り続ける間、凜として立っています。この回り続けるという意味は何でしょうか。それは、「**学び続ける**」ということです。人は「**学び続ける**」間、凜として立ち続ける。学びを通して「**自立**」するということです。では、糸巻きは何を表しているのでしょうか。糸巻とは、糸を巻く道具のことです。どんなに細い糸でも、1回、10回、50回、100回、1000回、5000回、10000回と、糸を巻けば巻くほど分厚くなっていきます。何が分厚くなっていくのでしょうか、それは「**人徳**」です。人徳とは、人に備わった素晴らしい知性、教養のことです。人柄がよく、誰からも尊敬され、多くの人に慕われる人が「**人徳のある人**」と言われます。「**糸を巻く**」こととは、**多くの経験・体験を積み、成功や失敗等を重ねていき、よりよく生きることとは何かを考えていくことだ**と思います。そして、その積み重ねが、その人を「**人徳のある人**」に育てていくということです。子供達には、是非、自分の学校の歳、そして、校章の込められた意味や願いを知って欲しいと思っています。自分達の遠い、遠い先輩が、後輩に向けて発せられたメッセージをしっかりと受け止めて欲しいと思います。この校章が制定されたのは、昭和37年3月とあります。それこそ、子供達にとっては、遠い、遠い昔の時代です。しかし、**今の時代にも必要且つ重要なこと、大切なことである「自立」。**決して色褪せることのない、先輩達の熱い思いが伝わってきます。

10月、令和4年度も後半戦に突入しました。先週は自然学校が終わり、来週は修学旅行となります。2学期の教育活動も留まることなく進んでいきます。今後もコロナ禍における様々な対応について、保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携を深め、児童にとって、「**明日も行きたい! 学びたい! 学校**」を目指し、日々の取り組みを充実させ、共に歩んでいきたいと願っております。